

全国 アニメ聖地巡礼サミット in 吉野 成功裡に終了



さくら咲プロジェクト実行委員会が、2017年1月22日に開催した「全国アニメ聖地巡礼サミット in 吉野」は、全国から約600人の参加者を集めた。参加者はアニメファンである若者が多く、吉野の新しい魅力を発信したと言える。

■「全国アニメ聖地巡礼サミット」の概要

2014年滋賀県豊郷町小学校旧校舎で開催された「全国アニメ聖地巡礼サミット in 豊郷」に続いて2度目の開催。

アニメ聖地の地域振興の発展、吉野地域の活性化を目的とし、「さくら咲プロジェクト実行委員会」が主催してサミットが開催された。

イベントでは、アニメ・マンガ地域振興を研究する増本貴士奈良県立大学特任准教授による基調講演や、人気声優のトークショー、学生の研究発表などのシンポジウムが実施された。



「全国アニメ聖地巡礼サミット in 吉野」のポスター



「シンポジウム」の様子



■「さくら咲プロジェクト実行委員会」

吉野山は全国的に桜で有名であるが、一部のアニメファンにとっては、人気アニメ「咲-Saki-阿智賀編」の舞台になった聖地として知られていた。好きなアニメ作品に登場する街をファンが訪ねる“聖地巡礼”。「咲-Saki-阿智賀編」では吉野山や金峯山寺が登場している。ヒロインたち

の住居のモデルとされる吉水神社や吉野山にある旅館は、アニメファンによって“聖地”と認識されファン独自でイベントも開催されていた。

このような動きを受けて、吉野町は2013年に町長が委員長を務める「さくら咲プロジェクト実行委員会」を立ち上げ、このアニメ作品のDVD発売記念イベントを開催して、1,000人を超える来場者を集め、その後も継続的にファンが訪れる場所となっていた。

■今後の展開

今回のサミットを成功に導いた「さくら咲プロジェクト実行委員会」事務局の担当者は、「国もアニメ等を活用しながら観光につなげる地域の取組を促進することを掲げている。奈良県には『一般財団法人アニメツーリズム』が発表する『アニメ聖地マップ』に登録された“聖地”が、橿原市や奈良市を含めて78か所あり、お互いに連携して“聖地巡礼”のツアーなど企画したい。また、今回のサミットに協力してもらった滋賀県や京都府の関係者とも手を携えて、全国からアニメファンを誘致できる宿泊を伴ったツアー企画も考えている」と話す。

また、近年奈良県で行われているアニメ関連の新しい企画としては、「奈良の夏の風物詩『燈花会』の会場で2014～2015年に、アニメキャラクターの等身大看板を設置して来場者がアニメ主人公と写真を撮影し、その映像をSNSに投稿してもらったところ、若い年代の参加者が増え来場者増加の一因となったと聞いている」とのこと。

今回のサミットで「若い参加者から世界遺産の地でアニメのサミットが開催されることに感激したとの声が聞けて、主催者も感激した」と伺い、地元とファンとの間にいい関係が構築されており、今後の盛り上がり期待が持てると感じた。（奥 桂子）